

一座建立 いちざこんりゅう

校長 ^み三 ^{むら}村 ^み美 ^{のぶ}延

5月22日、5年生を対象とする管弦楽鑑賞教室へ参加しました。(裏面に関連記事)文化センターの大ホールは市内から集まった数校の5年生でいっぱいになりましたが、どの学校の子どもたちも司会者の言葉によく反応し、演奏やパフォーマンスを楽しみました。その様子を受け、司会者は閉会の際、「皆さんのお陰で、とてもよい演奏会となりました。」と感想を述べられました。

「そのとおり！」良い会にするためには、参加者は「してもらおう」という意識ではなく、自ら進んで参加するという心持ちやマナーを守る態度などをもつことが大切です。茶道では「一座建立」という言葉があるそうです。一人ひとりが真心をもってそれぞれの役割をしっかりと果たし、一期一会をつくり上げるのだそうです。

先週の運動会では多くのご家族の方にご観覧いただきました。温かい声援のほか、運営ボランティアに多くの方がお申し込みくださいました。終了後には率先して片付けに加わっていただき、心より感謝申し上げます。また、日頃お世話になっている地域の方も大勢ご来場くださいましたこと、たいへん嬉しく思います。ありがとうございました。

学校行事である運動会には、望ましい人間関係を形成するという特別活動のねらいがあります。「一人ひとりが主役になれる最高の運動会」という運動会めあては全学年で話し合って決めました。6年生の子どもたちは放送や用具等の係分担をし、会全体の運営に携わりました。閉会式には計画委員会の子どもたちによる手作りの賞状が応援団長に渡され、上級生も下級生もそれぞれの役割を果たした達成感のある笑顔が印象的でした。

運動会の参加種目は、各学年とも2種目しかありませんでしたが、体育学習の成果を十分に発揮できたと自負しております。会の後半の表現運動では、音楽に合わせて踊るだけでなく、テーマに合わせた動きを個人やグループごとに考えて実際に表現しました。学年が上がるにつれてテーマは難しくなっていきますが、当日は、低学年の可愛らしい動きから高学年の豊かな表現に至るまでの過程をご覧いただけたことと思います。

体育の学習はこの後、夏のプール学習を経て、初冬には持久走(1～4年生は「かけ足」)を行います。持久走(かけ足)は「体づくりの運動」として「無理のない」「一定の速さで」数分間を走ります。他人と競走するのではなく自分の身体(心?)と対話しながら、「無理のない自分の速さ」を見つけていきます。継続して取り組むことで、時間内に走れる距離は少しずつ伸びていきます。

昨年度までは全学年同一日に「持久走記録会」を設定していましたが、本年度からは授業時間内にクラスごとに取り組むのみといたします。記録会での応援を楽しみにしていた保護者の方には申し訳ありません。ただし、運動場の授業はいつでも見学できますので、どうぞご遠慮なくご来校ください。その際は、保護者用名札の着用をお願いいたします。

熱中症の心配な季節になりました。学校は引き続き、安全に気を付けて授業を行ってまいります。

(令和6年6月)